

りあん



第17号
令和8年10月

りあんとは、フランス語で「人と人をつなげる」という意味があります。



目次

副院長あいさつ……………	2
医療機器安全管理者の 仕事について……………	2

広島大学からの診療応援について…	3
ふたばのあゆみ……………	4
病院祭について……………	4

副院長あいさつ

ふたば医療センター附属病院

副院長 木下 弘壽



外来診療では高血圧の患者さんを多く診ます。

高血圧は、最も多い疾患の一つです。また、将来の脳卒中・心臓病・腎臓病・認知症の発症リスクを高める病気です。日本では、1年間に17万人が、高血圧が原因となる病気で亡くなっています。日本の高血圧者は、4,300万人といわれていますが適切に治療されている人は30%弱です。高血圧の人では、年齢に関わらず、上の血圧を130mmHg未満、下の血圧を80mmHg未満まで下げると、それ以上の血圧に比べて、脳卒中や心臓病が少なくなります。

生活習慣の改善で血圧は下がりますが、目標血圧に達するためには内服薬が必要になります。

生活習慣の改善のためには、体調の記録が必要です。コロナ流行時には、毎日の体温測定・症状

の記録を職場に提出していました。今は職場に提出することはなくなりましたが、自己の健康状態管理に、日々の体重測定・1日歩数・体重・血圧測定を記録しています。

生活習慣の改善（減塩1日6g未満、運動毎日30分以上、肥満の是正、節酒など）で血圧は下がります。目標の血圧レベルに達するためには多くの高血圧患者さんは、血圧を下げる薬が必要となりますが、安全で効果があり、副作用よりも利益の方が大きいことがほとんどです。家庭血圧計による家庭での血圧測定は高血圧の診断と治療に役立ちます。

自己の血圧を記録し、治療の効果を実感することが、適切な治療の継続に重要です。

医療機器安全管理者の仕事について

医療機器安全管理者 木村主任看護技師



みなさんが病院で見かける、心電図のモニターや点検中の人工呼吸器。これらの医療機器が「いつでも安全に、正しく動く状態」を裏側で守り続けているスタッフがいますのをご存知ですか？

それが「医療機器安全管理責任者」です。

医療において、医師や看護師が「パイロット」なら、この仕事は「機体のチーフ整備士」。どれだけ優秀なパイロットでも、機体が故障しては安全に飛べません。具体的な仕事は主に3つあります。

1. 毎日の点検：医療機器がいつでも100%の力を発揮できるよう厳しくチェックします。

2. スタッフの勉強会：医師や看護師へ、新しい医療機器の正しい使い方を指導します。

3. 最新情報のキャッチ：国やメーカーからの安全ニュースをいち早く集め、院内に共有します。

医療機器は日々進歩していますが、正しく使わなければ命に関わることもあります。

私たちが安心して検査や治療を受けられるのは、医療機器安全管理責任者が常に機器の安全を見守っているからです。「患者さんの命と、医療スタッフの安心を裏から支える」。地味かもしれないけれど、病院にはなくてはならない大切な守り人です。

広島大学からの診療応援について



ふたば医療センター附属病院では、 広島大学病院からも応援の先生が来てくださっています！

ふたば医療センター附属病院 院長 谷川 攻一

当院の診療は福島医大、そして広島大学からの派遣医師によって支えられています。どうして広島大学から？と疑問を持たれる方も多いでしょう。

広島大学は原爆被爆者医療の豊富な経験を有しており、東日本大震災前から国が定める三次被ばく医療機関に指定されていました。そして2011年3月に発生した福島第一原子力発電所事故では、直後から広島大学は緊急被ばく医療支援チームを派遣しました。広島大学は緊急被ばく医療チームや放射線専門家を延べ1,300人余り福島県に派遣しました。なお、当時私は広島大学に所属しており、緊急支援チーム第一団のリーダーを務めました。

広島大学は原発事故被災地である福島への支援を重要な使命と位置づけており、「福島医療支援センター」を設置し、福島県の復興へ向けた支援を今も続けています。

広島大学は2016年から内科医は3か月交代で、救急医は毎月1週間派遣し、これまで延べ39人の医師がふたば医療センター附属病院で診療支援を行っています。広島大学の医師は双葉地域の医療にとって大変重要な役割を担っています。

これまで当院を支援してくれた 広島大学の医師の皆さん

越智光夫広島大学長(右)、内堀雅雄福島県知事(中)、
菊地臣一福島県立医科大学理事長(当時)(左)
(2016年12月、福島県庁にて)

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/sinryoka/chuoshinryo/fukushima>

大切なお知らせ

内科、整形外科、外科の一般外来の開設について

ふたば復興診療所の閉所に伴い、本年10月1日より、内科、整形外科、外科の一般外来を開始します。

電話番号：0240-23-5090（代表）

※予約受付時間：平日9時～16時

※予約の際は、番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようお願いします。



定期外来

- 循環器内科：月曜日、金曜日（毎週、10時～15時30分）
- 消化器内科：火曜日、水曜日（毎週、10時～15時30分）
- 糖尿病内分泌代謝内科：木曜日（毎週、10時～15時30分）
- 呼吸器内科：金曜日（第1、3、4週の金曜日、10時～12時） ※完全予約制
- 神経内科：金曜日（第2週の金曜日、10時～12時） ※完全予約制
- 整形外科：月曜日（毎週、10時～15時30分）

不定期外来

（平日、10時～12時、紹介状が必要となります。診察日は前月にお知らせします。）

- 血液内科、消化管外科、呼吸器外科、脳神経外科

病院祭を開催します！

今年も病院祭を開催します！

例年好評いただいている多目的医療用ヘリ見学、子ども白衣試着体験や血管年齢チェックのほか、今年は下肢筋力測定も実施します。

病院ならではの体験をぜひお楽しみください！

■日時 令和8年11月7日（土）9時30分～14時

■会場 福島県ふたば医療センター附属病院

富岡秋まつりと同日開催！



ふたば医療センター附属病院

@futaba_fuzoku

公式Xではふたば医療センター附属病院の取り組みや出来事を報告しています。病院の取り組みをもっと知りたい方、どんな雰囲気の病院か知りたい方などぜひご覧ください！フォローやリポスト、いいねも大歓迎です！



こちらのQRコードよりXのホーム画面に飛べます！



— 今回の表紙 —

ふたば未来学園のインターンシップで、救急車を見学していただきました。

当院の救急車は患者さんの転院搬送や災害時訓練・派遣に使用されています！



福島県

ふたば医療センター附属病院

〒979-1151 福島県双葉郡富岡町大字本岡王塚 817-1
電話 0240-23-5090 / FAX 0240-23-5091
ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/futaba/>

診療科・診療時間の詳細はホームページからご確認ください。
救急については24時間365日対応します。